

オウム対策住民協議会

烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

第6回学習会・デモ、盛況のうちに終わる

11月16日、住民200名あまりが参加したデモ行進にひき続き、烏山区民センターホールに於いて、弁護士山根二郎氏の講演会が開かれた。オウムの修行と称する悪の実態を披露し、住民の「オウムを断固拒否する権利」に言及した。正義感あふれる講演に、300人以上の観衆から大きな拍手が上がった。以下 山根二郎氏 寄稿

オウムの正体に住民あ然

オウムの信者が、あれだけ数々の殺人を實行することができたのは、オウムがやってきた「修行」の結果であった。にもかかわらず、オウムの「修行」なるものの実態を徹底的に究明しようとしてこなかったところに、オウムの復活・存続を許してしまった最大の原因があるといわなければならない。オウムを解体するということが、それはとりもなおさず、オウムの「修行」と「解脱」の実態と正体を徹底的に検証することによって、それが非人間的で無価値であること、そしてそれが自分や他人にとってきわめて危険なものであることを明らかにすることである。



最近のオウムは、立ち退きを迫る住民に対して、自分たちは今後決して犯罪を犯したりはしない、ただ解脱するための修行をしているだけだ。なんなら道場で修行しているところを見てほしいと言ったりする。まことに結構なことだ。オウムの連中

がやっているクンダリニー・ヨーガとやらをどこん見せてもらわなければならない。断っておくが、それを見せてもらうというものは、この連中が股を広げて坐っているところを外から見学させてもらうということではない。それは、彼らが何よりも尊いものとして熱中する「クンダリニー」が「覚醒」したときの状態をつぶさに観察し、そのとき、この者たちの身体の内部に

どのような変化・変容が起きているのかを徹底的に調べさせてもらうということなのだ。それにしてもオウムは、修行と称して何をやっているのだ。過呼吸をさせたり、酸欠呼吸をさせたり、肛門を開閉、緊縮させたり、「解脱」とやらを指して、この者たちは、なぜ、このような特異な身体的行為に耽るのか。もう、そのネタは割れているのだが、それでもその正体を知れば知るほど、肛門のあたりから湧き上がる「クンダリニーの覚醒」なるものを、私たちが小馬鹿にして済ませる問題でないことが分かってくる。なぜならば、この者たちが追求して止まない「覚醒」や「解脱」なるものが、人の体内に内蔵・分泌するエンドルフィン(体内麻薬)の然らしめるところであることが、よく分かってきたからである。

11月16日学習会 アンケート集計報告

【実施日 2002年11月16日(土)】 【回収113枚】

1. 抗議集会、学習会に参加したことがありますか。(○で囲んでください)
初めて… 30 2回目… 17 3回目… 18 4回目… 8 5回目… 10 6回目… 29 記入なし… 1
 2. 貴方のお住まいは(○又は記入してください)
北烏山… 38 南烏山… 30 給田… 12 粕谷… 9 上祖師谷… 1 上北沢… 5 八幡山… 9
その他… 9 【梅丘… 2 三鷹市… 1 赤堤… 1 荒川区… 1 その他… 4】
 3. あなたの性別は?(○で囲んでください)
男… 49 女… 64
 4. 今回の山根二郎氏の講演についてお答えください。(○又は記入してください)
(良かった… 79 まあまあだった… 10 期待はずれだった… 4 記入なし… 21)
- ◇今まで良く知らなかった事を、具体的に解明して下さったので、オウムの修行の根源が理解できた。(他36件)
 - ◇初めて、的を得た話を聞いた感じがします。
 - ◇エンドルフィンのお話を今日出席しなかった人々に聞かせたい。まだまだ、私達はオウムに対して勉強をしなければ……。
 - ◇オウムの姿を知ることが出来た。なぜ、あのような行為をしたか、彼達の行動に納得出来た。途中で帰るつもりが席を立てなかった。テレビで話して欲しいくらいに思った。2回目を期待する。
 - ◇オウムの中の一つを知った。宗教とは何かを考えさせられた。
 - ◇“アレフ”の人間の修行の正体がよくわかった。特殊な呼吸をしている。それは、人間を破壊する非常に危険な集団。

※5. 「住民協議会へのご意見」は、次号に載せます。

- ◇体内麻薬、仮死状態(酸欠)等興味深かった。
- ◇人間解体(精神破壊)である点が良かった。その他、日本人は宗教に対してあまりにうといと感じます。
- ◇修行の本当の内容がわかり、こわい。身体に異常が起きることの恐さもわかりました。
- ◇強く訴え、指摘する所が、普通の講演と違い、内容もよくわかった。
- ◇仏教などの儲け主義の宗教団体を許せないのですが、宗教団体に近づかないほうがよろしいのでしょうか。
- ◇とんでもない真実を教えてくれた。クンダリーニーのこわさを知った。
- ◇宗教の名で、引き込まれていくメカニズムがよくわかった。
- ◇オウムの修行についてよくわかった。それにより、今以上の恐ろしいことになりかねない現状がある事実がわかった。もっと早く山根氏の講演を聞いていたかった。もっと多くの人に聞いてもらいたい。
- ◇今日の講師の話は、ますますオウム反対を言い続ける必要性を強く感じた。忘れかけた過去のニュースを思い出した。
- ◇全然わかりませんでした。
- ◇法的問題が聞きたかったです。憲法上の権利等。仏教批判は、的を得ていない部分も多く、仏教徒でなくても不快だ。



「芦花祭り」での募金・署名活動

「芦花まつり」で募金・署名!

10月27日「芦花まつり」の会場にて、「観察処分」延長の署名活動を行いました。好天に恵まれ多くの人々で賑わう中、「がんばって下さい」との温かいはげましも頂き、募金と1675名の署名が集まりました。ご協力ありがとうございました。

名古屋でも闘っています

アレフが、西区より、千代田5丁目に移転してから1年と2ヶ月が経過しました。老松学区アレフ対策協議会では、中区全体で観察処分継続を求める署名をすすめておりましたが、皆様のご協力で、12,600名の署名を集めることが出来ました。直ちに集計して、9月始めに愛知公安調査局へ提出しました。

アレフは、9月21日に上祐を招き、70~80名の信者をあつめて説法会を開きました。中村区の在家信者は、まだ20名ほどいるそうです。以前100名近くいた信者は何処かへ移動したようです。先日も、両親の願いもむなしく若い女性が、名古屋道場へ入って行きました。どうやら、マインドコントロールをされて出家したそうです。現在名古屋道場は、インターネットや携帯電話を使い、家族が知らない内に、確実に信者を獲得しているように見えます。我々は、来年1月の観察処分の継続を願い、監視活動を粘り強く継続していきます。

～名古屋市中区・老松学区アレフ対策協議会ニュースより～

追悼

去る平成14年8月6日住民協議会副実行委員長の志村竹雄氏が亡くなりました。

氏はオウム教団が烏山に居住しはじめた時、いち早く協議会立上げに尽力され、以来亡くなる日まで先頭に立って活動されておりました。地域を愛するその気持は多くの人たちの知るところであり、青少年健全育成、身近なまちづくり、障害者のための「希望の会」など数えてみると氏の足跡がうかがえます。

これからもっともっと地域のため活躍されると思っていましたが急に旅立たれてしまいました。惜しむ気持ちを力に私たち住民協議会も運動を続けて行こうと思います。

また、9月31日に監視活動にご協力いただいた加藤久子さんが亡くなりました。

お二人のご冥福を心よりお祈りいたします。

住民協議会活動報告

- 10月27日(日) 「芦花まつり」で署名・募金活動を行う
- 11月9日(土) 企画部会
- 11月9日(土) 学習会のチラシ配布活動
- 11月10日(日) 学習会のチラシ配布活動

- 11月14日(木) 広報部会
- 11月15日(金) 学習会の広報車活動
- 11月16日(土) 学習会の広報車活動・チラシ配布活動
- 11月16日(土) 第6回学習会、抗議デモ
- 11月18日(月) 広報部会

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。